



ヤングケアラーの 相談相手になります

- 新しい年、2022年が始まりました。
あらたな希望や目標を掲げて、さっそくチャレンジを開始した方も多いと思います。新年というのは、やっぱり気分一新して気持ちがいいものです。
- しかし、私は昨年の反省から、新年をスタートさせたところがありました。
- 昨年の区議会第2定例会の本会議で「ヤングケアラーの調査をして支援体制をつくろう」と質問をされた議員がいました。
- その質問を聞いた私は「障害者の兄のケアをしていた元ヤングケアラーの私は『よくぞ言ってくれた』と思いました」と、この『区政・活動報告レポートNo.9』に書いている。だが、しかし、私はヤングケアラー支援の行動を、ただちに起こさなかった。
- 昨年末に耳に入ったのは、政府直属の「こども家庭庁」が2023年に新設されて、子どもと家庭の悩みや問題を担当するというニュースでした。そのうちのひとつに「ヤングケアラー支援」とありました。
- それはそれで、どうなるのやら、いまのところ見守ります。だけれど、たったいま困難さに直面している、ヤングケアラーはどうすればいいのか――。
- 私が相談に乗ります。ヤングケアラーの話聞き、悩みや問題を解決するために話し合ひましょう。
気持ちをわちあひ、支え合ひ、共に生きましよう。
- 目黒区役所まで来て下されば、プライバシーを守れる部屋が用意できます。
私の電話番号は080-5195-2909、
eメールアドレスはkanai.hi64@gmail.comです。
どうぞご連絡下さい。

今回、区議会議長宛に届いた11件の陳情のうち、5件が「区立保育園および区立学童の民営化」に関する意見と提言だった。



この「要望」は、小学校PTA会長や住区住区民会議会長、保育園の園長など30名ばかりの現場の人たちが集まってまとめられたものでした。

昨年の2021年4月に、目黒区が発表した「区立保育園の民営化計画」に対する、区民の調査要求や反対意見、疑問が、陳情という形で吹き出してきたのです。

ちなみに、昨年9月3日付けで「緑が丘児童館及び学童保育クラブ民営化計画」に関する要望が目黒区長の青木英二さんへ届けられていました。陳情だけではなく数十名が署名している「要望」まで届いている。

区立保育園と学童の民営化問題に陳情が集中したと言っていると思います。それらの陳情にいわく①「区立保育園の民営化計画の策定の際に、地理的な偏りへの配慮と体制の構築を求め」る②「学童民営化において小学校保護者が利害関係者となる理由の説明を求める」③「学童民営化費用のシミュレーションの妥当性について説明を求める」④「学童民営化の目的と目標に関する説明を求める」⑤「これまでに民営化した園を含む目黒区内の実態調査を求める」とある。

区立保育園と学童の民営化問題に陳情が集中したと言っていると思います。それらの陳情にいわく①「区立保育園の民営化計画の策定の際に、地理的な偏りへの配慮と体制の構築を求め」る②「学童民営化において小学校保護者が利害関係者となる理由の説明を求める」③「学童民営化費用のシミュレーションの妥当性について説明を求める」④「学童民営化の目的と目標に関する説明を求める」⑤「これまでに民営化した園を含む目黒区内の実態調査を求める」とある。

「これほど多くの陳情が集まるのは、いままでに経験したことがない。前代未聞の出来事だ」と、あるベテラン区議は思わず声に出して言ったのを、私は聞きました。
昨年11月から12月にかけての目黒区議会2021年度・第4定例会での出来事でした。この出来事は、11件という多くの陳情が集まったというばかりではありませんでした。陳情の採択をおこなう区議会各委員会を傍聴をする区民のみならず、委員会の開かれる会議室の廊下には、傍聴者が座って委員会の開始を待つためのパイプ椅子が、区の職

員によって並べられたのです。この光景も「見たことがない」とベテランの区議や区職員が異口同音に言っていました。

当選1期目にして2年半ほどの区議活動しか経験していない私にとって、区政のベテランたちの意見は、実に不思議でした。

陳情は、それほど少ないもので、多くの傍聴者が集まることもなかったのだ、とあらためて思いました。

しかし今回は、沢山の陳情が届き、多くの傍聴人まで集まっている。まさにベテランの人たちが驚くほどに集まっているのです。

**区立保育園・区立学童の民営化計画は、もはや「区長案件」である！
区長の青木英二さんは民主的な「対話集会」を開くべきだ！
区民からの陳情11件が集中した区議会第4定例会報告**

こんにちは！

目黒区議会議員

金井ひろし
です。

District Administration Report & Activity Report



区政・活動報告レポート

No.11 2022 新年号

ADDRESS 〒152-0032

東京都目黒区平町1-21-20-303

TEL : 080-5195-2909

E-mail : kanai.hi64@gmail.com

Official Web Site : kanai-hi64.com



facebook



twitter



Official Web Site



金井ひろしE-mail



誰もがともに学び、育ち、「共に生きる！」

Create a society where everyone can learn and grow together and realize "unity in diversity".

누구나 같이 배우고, 성장하고, 「같이 사는 세상！」 / 全员互助互学, 共同成长, 实现“共生向荣”

区立惠民民主党



第9回

区政報告会 & タウンミーティング

会場とZoomで20名の参加者が集い、国政から区政まで対話が弾みました！



私たち「かなカナ会」は、昨年最後の「金井ひろし区政報告会 & タウンミーティング」第9回を、12月12日に鷹番住区センターで開催しました。

10月に緊急事態宣言が解除された昨年でしたが、コロナ禍対策がなかった日は、わずか28日間だったそうです。それでも毎回たくさんの方々が参加してくださいました。この日も新変異種オミクロン株の国内感染が確認され、言い知れない不穏感がありつつも、会場を広く確保し、参加者同士の間隔も十分にとった会場で、リアル参加とリモート参加で合計20名が集まりました。

私から「集会の時間は限られているけれど特に対話を重視したい」という点をお伝えして開始しました。

10月の衆院選後、初めての集会だったため、今回も駆けつけて来られた衆議院議員手塚よしおさんからその振り返りと野党共闘について、さらには立憲民主党の新体制の話がありました。参加者からは厳しいご意見が出ましたが、立憲民主党にとっては、ご批判ふくめてすべてのご意見が良き刺激となる選挙結果だったと思います。

昨年の選挙で都議会議員に選ばれた、元目黒区議の西崎つばささんも参加され、都政の「悪しき慣例」や「見える壁」を、どのように破っていくか、フレッシュな都議会報告をしてくれました。

そして区政については、私が9月の第3定例会での質問事項の説明をして、11月から12月の第4定例会での陳情などについて報告しました。

集会の最後を締めたのは3人の学生インターンの「未来国会」報告です。別途、記事にまとめましたので、ぜひ読んで下さい。

2時間のタウンミーティングは休憩をはさんで、区政から国政まで幅広い報告と対話ができました。

今回はまた、この大学生パワーに加えて、区立保育園・民営化問題の当事者である1歳児さん（一）と保護者さん参加して下さい、始終和やかな雰囲気でした。

いただいたご質問やご意見は私へのエールとして受け止め、本年度は一層「元氣すぎる金井」を感じていただけのように区政と真正面から向き合っていきます。

次回の区政報告会は2月13日（日曜）に予定しています。詳しくは4ページでご案内しています。

さまざまな意見を話し合い、地域の情報を交換し、「共に生きる」暮らしをつくっていききたいと思います。

区民のみなさんのご参加をお待ちしています。



区政報告会 & タウンミーティングの名物プラスワン！

学生インターン3人による「未来国会」の「政策発表」

昨年夏から秋に政治を学ぶ学生インターンとして目黒区議の現場を体験した、大学生たち3人が手掛けた政策立案を、かなカナ会でも発表してくれました。

この政策立案は、3人が所属するNPO団体が主催する「若者のための国会デザインコンテスト 未来国会2021」で発表したもので、30年後の日本を想定した理想の政策と予算立案の課題です。

3人はまずビジョンについて話し合い「あと数年で社会に出て大人として生きていくが、知らないことばかりで不安を感じる若者が少なくない。必要な知識を社会に出る前に学びたい」という思いを共通認識したことから、政策立案のテーマを「大人になったときに困らない社会」にしました。

具体的なテーマは「お金の制度を知らない」「選挙の考え方がわからない」の2点を問題点として掲げ、重点政策①と②を立案しました。①. 高校生に最低限の知識を培う学習環境を実現する。②. お金に関する知識の必要性を学ぶ動画とアンケート作成・実施。③. WEBサイトにスマホ等で見やすい動画と解説を用意し、長期休暇時に理解度テストを実施。④. 長期休暇明けに学校で銀行員等の協力を得てワークショップを開催し学び、意見交換などアウトプット化を図る。

算出した必要予算は730億円。財源は文化科学省が担う私立大学等経常費補助。コロナ禍で平常時の学習を提供していないのに、大学は変わらぬ学費収入を維持しているため、補助を一部削減してこちらに回すことは問題ないと考えました。

2. 選挙については恒常的に政治を直視するために①選挙時に、政党や候補者の情報がどこで得られるかがわかる冊子を配布。②当選後の議員の活動と成果を伝える動画を作成し、毎年高校生向けへ提供し、行政のHP等に掲載して、いつでも閲覧可能にする。予算は210億円。財源は私立大学等経常費補助と、国立大学法人施設費でまかないます。

これらの政策により「お金や選挙で困る人が出ない社会を実現したい」という言葉で発表は締めくくられました。歯切れのよい3人の発表は「自信を持って大人になりたい」という若者たちの切実な政策で共感できるものでした。しかしこれは逆説的には、最低限の生活知識が、教育の場で教えられていないという重要な指摘でもあり、「大人になることへの不安」の背景には、年金制度への不審や、税金や社会保障が理不尽な制度になっていないかとの疑問があるのだらうと考えさせられました。こういった意見と実践を尊重し、彼らが一市民として活動できる社会をつくりたいと思います。



多様性を誇りに。わかちあうことを力に。

Create a society where everyone can pride themselves on living in a diverse society,

다양성을 자랑스러워. 서로 나눔을 힘으로. 서로 도와주는것으로 안심을

ただちに区長は民主的な「対話集会」を開催して、説明責任を果たすべきだ

こうした多数の陳情や要望が、区民から区議会と区長に届けられているのは、区長をはじめ行政が「区立保育園の民営化計画」について、誠意ある説明をしていないからだと思ふ。

この問題は、子育ての重要な問題であり、目黒区民の生活の基盤の問題です。

しかし、区長と行政は、「民営化計画」を発表するだけで、保育や学童の現場の人たちへ理解を求める説明も少なく、議論もつくしていない。目黒区議会でも納得いくまで議論しているとは、到底言えない状況だ。

つまり区長をはじめ行政は、自分たちが決めた

ことに、区民が意見をしても、いまのところ無視しているに等しいのです。

区長と行政が「計画」を提案するのは正当な仕事だと認識しているが、それが区民の意見を無視した押しつけになっている。今年で18年間の長きにわたり区政運営が続いているベテラン区長が、このような区民の意見を、どのように受け止めるのか、と私は問いたい。

このまま「計画」を強行すれば、区民を分断することになりかねないと思ふ。個人の名前や住所をあきらかにして陳情や要望をする区民の、やむにやまれぬ気持ちを、区長は理解しているのだろうか。

ただちに民主的な「対話集会」を開き、区民と直

接対話をして説明責任を果たすべきと、私は思っています。

私が説明責任を果たさなければならぬ「陳情」があった

陳情といえば、もうひとつ、どうしても書いておきたいことがあります。昨年8月30日付けで目黒区議会議長宛に「沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める陳情」が届きました。

この陳情が求めていることは①「沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう国に意見を表明してください」②「目黒区が行う平和への取り組みに沖縄の戦禍を学ぶ内容を取り入れてください」③「2022年5月15日の沖縄返還50周年に向けて区としての記念行事を企画してください」の3つでした。

私は「戦争のための基地も武器もいらない」と考える「非軍事の平和主義」を理想とする者です。したがって、国へ意見書を提出することに賛成しました。

沖縄と戦争の問題は過去の問題ではなく、たつたいまの時代に考えるべき、目の前の問題です。

日本とアメリカの軍事同盟によって日本に存在する米軍基地の70%が沖縄におかれている。この数字1つとっても理不尽なのに、辺野古新基地建

設が沖縄の人びとの反対の声を聞かずに強行されている。

沖縄について考えることは、日本の平和と戦争について考えることであり、現代の世界の平和について考えることだと思います。

そして目黒区から遠いところの問題ではなく、平和と戦争の問題は、私たちの生活を根底から壊してしまう恐ろしい問題です。

そのことは中世から近現代までの沖縄の歴史を学べば鮮明に理解できることだと私は思っています。

私個人は「陳情」に賛成した

しかし私が所属する党派「フォーラム目黒・立憲民主・無所属の会」合計3名では意見がまとまらず、会派として賛成しない決定になりました。

私たちの会派は平和を希求する基本姿勢を一致させていますが、現実的な方法や政策については、当然のことながら個人にさまざまな意見があります。その現実的な意見がまとまらなかったのです。

こういう場合に、個人で賛成か反対か、あるいは継続を表明する方法がありますが、この方法を選ぶべきだったのかなと、いまになって思います。

この陳情は委員会・目黒区議会において反対多数で否決されてしまいましたが、私は自分が採決

に賛成したという事実を記録に残しておきたいと考えたからです。

平和であることは「共に生きる」生活の基本だと思います

私は区議会議員として、区民のみなさんの目の前にある地域の生活と社会の問題を、より良く解決していく責任があります。が、平和であること、すべての人の人権が守られていること、民主主義を時代に合わせて磨いていくことが生活の基本だと思います。

地球の自然を人類が使い切ってしまったと指摘される現代において、地域の問題だけに埋没するのではなく、全地球的な視野で考え、虫の目地



この政治課題は私のメインテーマです。徹底した議論をする所存です。 金井ひろし

支え合うことを安心に。 目黒区議会議員 金井ひろし

find strength in compassion of others and ensure security by supporting one another.

我们以多样性为荣，合力前进，互为股肱，安心宜居。

立憲民主党

毎年恒例「区議会写真展」 松嶋祐一郎さんが 推薦(グランプリ)に輝く

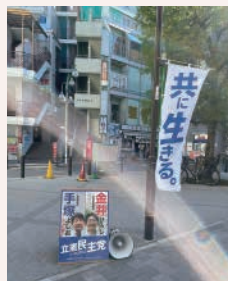
区議会に出席する有志でつくる芸術文化クラブ(会長は区議の武藤まさひろさん)が主催する年に一度の「区議会写真展」が11月に開催されました。

今年のテーマは「明日」です。プロの写真家から選考して、区議の松嶋さんの写真(下)がグランプリにあたる「推薦」に選ばれました。私もこの2年、応募していて、今年は「区長賞」に選ばれました。すべての応募写真は、区役所5階の区議会事務局の廊下に飾られていて、誰もが自由にご覧いただけます。



今年も毎週水曜日の朝 都立大学駅頭に立って話しています

3年前の初当選の春から、毎週1回・水曜日の朝に、駅頭で演説をしてきました。朝のご挨拶をしながら、子育てや保育など身近な区政の問題から、国政や国際的なことまで、私の意見を話しています。また、お声がけいただき、ご意見を頂戴することもあります。どうぞお気軽に、ご相談など、お声をかけて下さい。



区民のみなさんに一番近い場所で、話をしたいと考えております。なお、ご希望の方には、この『区政・活動報告レポート』を毎号郵送いたしますので、お気軽に私へご連絡下さい。

障害者を普通学校へ・全国連絡会 第20回全国交流集会のご案内

全国交流集会 in 東京ポスト集会

「だいじょうぶ

みんなで行こう地域の学校」

日時：1月22日(土) 13:30-16:30

会場：日本教育会館8階第3会議室

千代田区一ツ橋 2-6-2

Zoom 参加申し込み(1月14日締切)

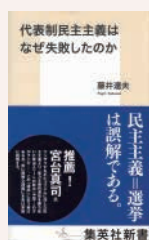
info@zenkokuren.com

参加費：500円

主催者電話番号：03-5313-7832

誰もが地域で共に学び、育ち、そして共に生きる。これが私の考えと活動の原点です。私も参加します。お気軽にお越し下さい。

この困難な課題に挑戦し 私たちの民主主義を再生する



本書の推薦文には「ウンザリするポピュリズムに淫した民主主義」とあり、本文では「代表制民主主義の仕組みを解体し、さらに再構築していく」と主張する。

難しい論考ではなく、私たちが知らず知らずに追い込まれた現実を、事細かに解き明かす論考だと思いました。

区議として、この論考の指摘する現実を考えに入れておかないと、大きな間違いを犯すかもしれないと肝に銘じ、いつも考えておくべき基本的な課題だと思いました。

『代表制民主主義は、なぜ失敗したのか』

藤井達夫・著
集英社新書・2021年11月刊
定価946円
ISBN978-4-08-721194-8

生まれて初めてのボウズ 下手の横好き釣り師の嘆き

「ボウズ」は、釣りの世界の専門用語で、1匹も釣れなかったことを言います。

私の趣味は海釣りです、そのキャリアは、もう40年ちかくなります。休みの日に、ふらりと港へ行って、乗合の釣り船を利用することが多いです。

昨年12月の休日、真鯛狙いの新しい仕掛けを用意して、いつものように意気揚々と海釣りに出かけました。家族には「夕食は真鯛の刺身だ」と宣言までしました。

しかし、結果はボウズ! 私だけではありません。同じ釣り船に乗った15人のうち13人がボウズでした。

その夜、家族の期待を裏切った私はフテ寝をしました。



区民農園報告 アンケート結果が出ました



昨年3月に抽選で当たった区民農園は、1年ごとの抽選です。今年、3月で期限が終わります。

いまはネギ、人参、白菜、大根など栽培し、収穫を楽しみにしています。生活にも食卓にも彩りが増えた1年間になりました。区役所が実施した区民農園利用者へのアンケートは「70%以上の利用者が現状のままで満足している」という結果だと報告をうけました。

次は、区民農園に興味があるけれど、まだ利用していない区民のみなさんなど、もっと広い層の意見をまとめて分析することをお願いする次第です。

第10回 金井ひろし区政報告会 & タウンミーティング 開催!

- リアル参加会場とZoomリモート参加の両方を用意いたします。
- Zoomリモート参加をご希望の方は「金井ひろしQRコード」もしくは「金井ひろしのe-mailアドレス」へ、2月11日までに、お申込みください。Zoomご招待の返信メールを差し上げます。
- リアル会場は、密にならない席の配置と窓開け換気をほどこしますので、寒さ対策などのご協力をお願い致します。
- リアル参加の方は、マスクの着用と、用意しておりますアルコール消毒液で手指消毒をするか、洗面所での手指洗いをお願い致します。

日時：2022年2月13日(日曜)

午後2:00から午後4:00まで 参加費無料

会場：鷹番住区センター2階(東急東横線・学芸大学駅・下車徒歩5分)

目黒区鷹番3-17-20 電話：03-3715-9231

当日連絡電話：080-5195-2909 金井ひろし

今回はみなさんとの対話をメインにして、数名のゲストスピーカーをお呼びし、状況分析や活動方針など、気軽に話し合いたいと思っています。ご意見ご要望をお伝えください!



2/13
日曜日



こんにちは! 金井ひろしです。

区政・活動報告レポート No.11 2022年新年号 1月7日発行(通巻11号/第4巻第1号)

編集発行人: 金井ひろし 〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303

TEL: 080-5195-2909 E-mail: kanai.hi64@gmail.com



金井ひろしQRコード

立憲民主党